



2020年11月17日
株式会社自律制御システム研究所
株式会社 A.L.I. Technologies

ACSL と A.L.I. Technologies、 安全なドローン運搬システム構築に向けた連携開始

～ドローンを用いた安全なモノの運搬を早期に実用化～

株式会社自律制御システム研究所(本社:東京都江戸川区、代表取締役社長 兼 COO:鷺谷聡之 以下「ACSL」、証券コード 6232)と株式会社 A.L.I. Technologies(本社:東京都港区、代表取締役社長:片野大輔、以下「A.L.I.」)は、安全なドローン運搬システムの構築に向け、連携を開始します。



両社はドローンの物流産業という配送以外にも、ドローン利活用の多様化によって「モノを運搬する」ニーズ拡大を実感しこれに着目しました。本連携によって、ACSL の産業用ドローンにおけるハードウェアテクノロジーと A.L.I.のソフトウェアテクノロジーを組み合わせることで、運搬システムの信頼性向上と商用利用に向けた実用化を早期に確立することが可能となります。既に具体的なクライアントニーズも獲得し、来年度の早期商用化を目指します。

ACSL は、これまで物流・インフラ点検・災害領域での産業用ドローンを社会実装することで、様々な現場の課題を解決してまいりました。中型ドローンである ACSL-PF2 及び小型ドローンである Mini を開発しており、あらゆる環境、課題に合わせてカスタマイズすることで、市場を拡大してまいりました。さらに、2020年8月に中期経営方針「ACSL Accelerate 2020」を公表し、2022年の有人地帯上空での目視外飛行(レベル4)に関する規制整備が整う見通しの中で、よりセキュアで信頼性の高いドローンの開発・量産化を推進しています。

A.L.I. は昨年11月大型の資金調達を実施しており、出資した多くの事業会社とオペレーションが始まっております。社内にて機体の開発・カスタム対応を行う体制を有しており、顧客のフィードバックを元に独自の機体開発にも力をいれております。ACSL との連携によって高品質な運搬システム構築を早期に実現し、新たな社会実装に向けたメイドインジャパンのドローンシステムを確立させることが可能となります。

【ドローンのレベル4飛行(目視外、補助者無し、有人地帯)】



参照: 小型無人機に係る環境整備に向けた官民協議会(第14回)発表「空の産業革命に向けたロードマップ 2020～我が国の社会的課題の解決に貢献するドローンの実現～」より抜粋

【株式会社自律制御システム研究所(ACSL)とは】

ACSLは、産業分野における既存業務の省人化・無人化を実現すべく、国産の産業用ドローンの開発を行っており、特に、画像処理・AIのエッジコンピューティング技術を搭載した最先端の自律制御技術と、同技術が搭載された産業用ドローンを提供しています。既にインフラ点検や郵便・物流、防災などの様々な分野で採用されています。

URL: <https://www.acsl.co.jp/>

【株式会社 A.L.I. Technologies とは】

A.L.I.は、AI搭載型ドローンをはじめ、各種ソリューションビジネスを展開するドローン・AI事業、世界中のコンピューティングパワーをシェアリングする演算力シェアリング事業、サステナブルな社会を創造する電力ソリューション事業、世界初の実用型ホバーバイクの販売を目指すエアーモビリティ事業を展開しております。

A.L.I.は、今後も、既存の発想に捉われず、ドローン、AI、ブロックチェーンなどのテクノロジーを活用したプロダクトを開発し、イノベーションを起こし続けてまいります。

URL: <https://ali.jp/>

※本プレスリリースは ACSL と A.L.I.の共同プレスリリースになります。

＜本件に関する報道機関からのお問い合わせ先＞

株式会社自律制御システム研究所 (ACSL) カスタマーリレーション(担当:廣嶼(ひろしま))

Tel: 03-6661-3870 Email: sales@acsl.co.jp

株式会社 A.L.I. Technologies: 広報ユニット Mail info@ali.jp